

令和 7 年 9 月 1 日

市政記者クラブ様

熱田神宮周辺エリアプラットフォーム

住宅都市局まちづくり企画部まちづくり企画課

課長 伊東 TEL：9 7 2－2 7 3 8

（問い合わせ先）

学校法人 名古屋学院大学社会連携センター

課長 小竹 TEL：6 7 8－4 0 8 5

熱田神宮周辺エリアプラットフォーム発足記念シンポジウムの開催 ～「名古屋・熱田観光は官民連携でどう変わろうとしているのか？」～

この度、産官学民からなる多様な主体で構成された熱田神宮周辺エリアプラットフォームは、熱田神宮周辺におけるまちづくり推進の機運醸成のため、発足記念シンポジウムを開催することとなりましたので、ご案内します。

記

1 概 要

熱田神宮には年間約 7 0 0 万人の参拝者が来訪し、その周辺には七里の渡しをはじめとした様々な歴史的資産が集積しています。こうした熱田神宮周辺エリアが持つポテンシャルを活かしたまちづくりを進めるため、熱田神宮周辺エリアに関わるまちづくり団体・自治体・企業・大学など多様な主体で構成される「熱田神宮周辺エリアプラットフォーム」が令和 7 年 1 月 2 9 日に設立されました。

本エリアプラットフォームでは、まちづくりの方針や将来像等を取りまとめた「熱田神宮周辺まちづくり未来ビジョン」を公表し、官民連携によるまちづくりに取り組んでいます。この度、本エリアプラットフォームの発足を記念し、熱田神宮周辺におけるまちづくり推進の機運醸成のため、各主体がまちづくりの取り組み状況や展望、期待等について共有し議論するシンポジウムを開催します。

2 日 時 令和 7 年 9 月 2 0 日（土） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 0 0 分

3 会 場 名古屋市熱田区大宝二丁目 4 番 45 号
名古屋学院大学 名古屋キャンパスたいほう

4 主 催 熱田神宮周辺エリアプラットフォーム

5 定 員 1 0 0 名程度（参加無料、先着順）

6 参加方法 令和 7 年 9 月 1 7 日（水）までに、右の二次元コードにてお申込みください。



※熱田神宮周辺エリアプラットフォームとは

国土交通省が所管する「官民連携まちなか再生推進事業」制度に基づいた組織で、熱田神宮周辺エリアに関わるまちづくり団体・自治体・企業・大学など多様な主体で情報を共有し、一体となって様々な活動を推進することにより、当エリアの抱える課題の解決と年間約 700 万人の参拝者が訪れる熱田神宮を有する当エリアのポテンシャルを活かしたまちづくりを実現することを目的として設立されました。

熱田神宮周辺エリアプラットフォーム参加メンバー（50 音順）

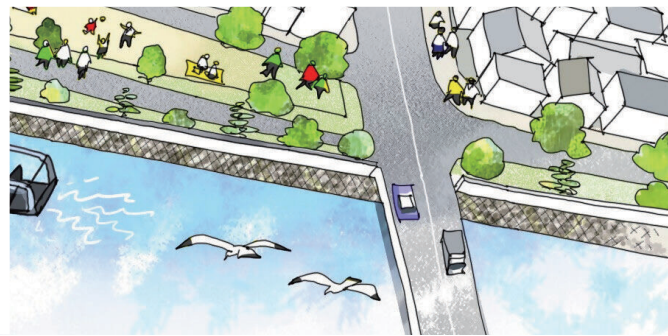
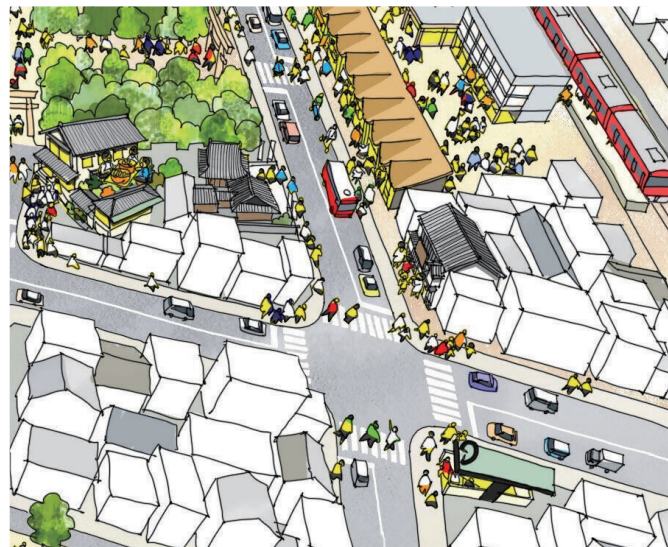
熱田神宮駅前地区まちづくり協議会
熱田湊まちづくり協議会
あつた宮宿エリアマネジメント株式会社
あつた宮宿会
株式会社MTG
東海旅客鉄道株式会社
独立行政法人 都市再生機構 中部支社
学校法人 名古屋学院大学
公益財団法人 名古屋観光コンベンションビューロー
名古屋市
名古屋商工会議所
名古屋鉄道株式会社
NPO法人 堀川まちネット
水辺とまちの入口ACT株式会社



熱田神宮周辺エリア
プラットフォーム
発足記念シンポジウム
SYMPOSIUM2025



名古屋・熱田観光は
官民連携で
どう変わろうと
しているのか？



日時

2025 **9.20** **±** 13:30 ~ 15:00 (受付開始13:00)

会場

名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう (名古屋市熱田区大宝 2 - 4 - 45)

PROGRAM

1	開会あいさつ	花井芳太郎 (エリアプラットフォーム代表 / あつた宮宿会会長)
2	エリアプラットフォーム概要説明	水野晶夫 (名古屋学院大学現代社会学部教授)
3	パネルディスカッション (13:45 ~ 14:55)	〈パネリスト〉 広沢 一郎 (名古屋市長) 高崎 裕樹 (名古屋鉄道株式会社代表取締役社長) 松下 剛 (株式会社 MTG 代表取締役社長) 花井 芳太郎 (あつた宮宿会会長) 〈モデレーター〉 伊沢 俊泰 (名古屋学院大学副学長)
4	閉会あいさつ	赤楚 治之 (名古屋学院大学学長)

【主催】 熱田神宮周辺エリアプラットフォーム

PROFILE



パネルディスカッション パネリスト

広沢 一郎（名古屋市長）

名古屋市出身。慶應義塾大学卒業後、ブラザー工業・伊藤忠商事を経てIT企業を起業。キングソフト代表取締役を務めた後、愛知県議会議員、名古屋市副市長を歴任。2024年、名古屋市長に初当選。
市長として、「ナゴヤ庶民革命の継承」と「名古屋大成長戦略」の実現を掲げ、市民の暮らしを豊かにし、名古屋の魅力と活力を高める都市づくりを目指している。



パネルディスカッション パネリスト

高崎 裕樹（名古屋鉄道株式会社代表取締役社長）

岐阜県出身。1983年名古屋鉄道株式会社入社。
2012年取締役。常務取締役、専務取締役、代表取締役 副社長執行役員を経て、2021年6月に代表取締役社長 社長執行役員へ就任。
不動産事業の経験が長く、現在は交通・開発・観光が三位一体となったまちづくりを通じて、地域の魅力向上に取り組んでいる。
名古屋商工会議所地域開発委員長も務める。



パネルディスカッション パネリスト

松下 剛（株式会社 MTG 代表取締役社長）

株式会社MTG代表取締役社長。1970年生まれ、長崎県五島市出身。
11歳で起業を志す。89年高校卒業後、愛知県の株式会社デンソーに就職。94年MTGの前身となる株式会社プレイズを創業。96年株式会社MTGを創業。BEAUTY（美容）、HEALTH（健康）分野でエビデンスに基づく商品、サービスを生み出し、事業ビジョンに掲げる「VITAL LIFE～世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現～」を目指す。



パネルディスカッション パネリスト

花井 芳太郎（エリアプラットフォーム代表／あつた宮宿会会長）

名古屋市生まれ。「尾張名古屋・亀屋芳広」3代目当主。
あつた宮宿会会長、あつた観光まちづくり連盟会長、熱田神宮周辺エリアプラットフォーム代表を務める。
大学を中退してバックパッカーで半年間放浪し、帰国後すぐにアメリカの大学に留学。卒業後、現地で始めた学生サークルをイベント会社として興す。現在は和菓子を通して熱田に関わり、海外にも和菓子文化を発信。



パネルディスカッション モデレーター

伊沢 俊泰（名古屋学院大学副学長）

東京都生まれ静岡県育ち。一橋大学大学院経済学研究科を経て、1995年名古屋学院大学経済学部着任。
現在、名古屋学院大学副学長（2021年～）、および経済学部教授。名古屋学院大学社会連携センター長（2020～）として、名古屋市熱田区と協働するまちづくり事業に関わるほか、瀬戸市地域力推進協議会委員長など瀬戸市のまちづくり・高齢者福祉行政にも参画している。



エリアプラットフォーム概要説明

水野 晶夫（名古屋学院大学現代社会学部教授）

名古屋市生まれ。名古屋大学経済学部卒業。名古屋学院大学現代社会学部教授。学生との「商学連携」活動で、瀬戸・銀座通り商店街、名古屋・日比野商店街を「がんばる商店街」入選に導く。
それらの成果もあり、文部科学省・地（知）の拠点整備事業に名古屋学院大学が選定。現在、地元熱田の老舗若衆らとともに「あつた宮宿会」を立ち上げ、「あつた朔日市」の開催や産官学連携のまちづくりに取り組む。



参加方法

締め切り

9月17日

水

参加無料

事前申込制です。（定員 100 名程度）

右の二次元コードから申込フォームにて手続きをお願いします。



問合せ先

名古屋学院大学社会連携センター

【TEL】052-678-4085 【E-mail】renkei@ngu.ac.jp